

令和 4/5/6年度入学生 総合的な探究の時間 全体計画

府立 桜塚 高等学校 課程等 全日制 普通 科(系)

Table with 2 columns: 名称, (学校において定める総合的な探究の時間の名称) 『総合的な探究の時間』

Table with 2 columns: 学校の教育目標, ①学ぶ力をつける。新学習指導要領の趣旨に添い、生きて働く「知識・技能」の習得と「思考力・判断力・表現等」の育成をめざす。②人間力をつける。学校行事・自治会活動・部活動等を通じて、生徒の達成感や自尊心、豊かな人間性を育む。③地域社会との連携、国際交流を通じて、これからのグローバル社会の中核として社会で活躍し社会に貢献できる生徒を育てる。

Table with 2 columns: 学習指導要領第1目標, 探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。(2)実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。(3)探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

Table with 2 columns: 目標, (学校の教育目標と学習指導要領の目標を踏まえ、総合的な探究の時間を全体を通して、学校として育成をめざす3つの資質・能力をそれぞれ記入) 【知識及び技能】 文献、メディアなど様々な情報リソースを駆使して、社会情勢や社会課題を的確に把握できる 【思考力、判断力、表現力等】 自己の特性を分析、認知し、自らが社会課題の解決にどのように取り組んでいけるかを考察し、表明することができる 【学びに向かう力、人間性等】 社会分析と自己分析を通じた探究を深め、探究内容を自らの進路に向けて実践することができる

Main content table with 4 rows of inquiry topics. Each row includes: 探究課題 (学校として定めた目標を達成するにふさわしいテーマ(学習対象)), 実施学年(年次), 1, 2-3, 3; 育成をめざす具体的な資質・能力 (探究課題との関わりを通して、どのような生徒の姿を実現するか、具体的な資質・能力を記入); 内容 (探究とはどのような時間で、どのような目的のもと、どのようなねらいをもって、どのようなことを行っていく時間なのかの理解を共有するため、身近な題材をテーマにしたアクティビティを行う。その際には外部講師の招聘あるいは外部教材の活用もまじえ、個人での活動をベースにグループやクラス単位の協働作業や発表作業も取り入れる。); 探究課題 (学校として定めた目標を達成するにふさわしいテーマ(学習対象)), 実施学年(年次), 1-2, 2-3, 3; 育成をめざす具体的な資質・能力 (探究課題との関わりを通して、どのような生徒の姿を実現するか、具体的な資質・能力を記入); 内容 (身近な社会人の中から、自ら理想とするロールモデルを設定する。その人物の生い立ち、高校生活、職業選択、人生のモットー、生活意識などを多岐にわたり調査したりインタビューすることで、1人の人間がどのような環境、条件、努力によってキャリアを獲得していくのかを探究する。表面的な流行に左右されない堅実で主体的な進路意識やキャリア感を育てる。各自が提示したロールモデルはクラスで共有することで、全体の視野を広げ他者を尊重する意識を醸成する。後半では、ロールモデルが社会をどう変えるかという視点から活動を深め、VUCA World(将来を見通す事が困難で「正解」のない時代)を生き抜くために必要な7つのC=Curiosity(好奇心)、Challenge(挑戦意欲)、Communication、Coutesy(礼儀)、Characteristics(特性・個性)、Collaboration(協働)、Contribution(貢献)を育成する。それぞれの探究結果は必要に応じてクラスや学年全体でのプレゼンテーションの場で共有をはかるとともに、時間に余裕があれば英語でのプレゼンテーションの機会も設ける。); 探究課題 (学校として定めた目標を達成するにふさわしいテーマ(学習対象)), 実施学年(年次), 1-2, 2-3, 3; 育成をめざす具体的な資質・能力 (探究課題との関わりを通して、どのような生徒の姿を実現するか、具体的な資質・能力を記入); 内容 (ロールモデルの探究を踏まえ、理想の人物像を自らの生き方に落とし込むべく自己分析を進めるとともに、自らと社会との接点を考える。その際には、少子高齢化、気候変動、グローバル化、AIの普及といった現象が進行する現状をふまえて、地域と世界の今後のあり方をあわせて探究する。地域連携を進めてきた本校では、地元の市役所、社会福祉協議会、国際交流協会、商工会議所とのこれまでの連携を活かして、様々な切り口で社会状況を展望し、その中で主体的に果たすべき自らの役割を考える。また、修学旅行の行き先である沖縄と本土の関係の過去と現代、そして未来について探究し、沖縄の高校生とのオンライン交流などの機会も併せて持つ。); 探究課題 (学校として定めた目標を達成するにふさわしいテーマ(学習対象)), 実施学年(年次), 1-2, 2-3, 3; 育成をめざす具体的な資質・能力 (探究課題との関わりを通して、どのような生徒の姿を実現するか、具体的な資質・能力を記入); 内容 (1・2年で学んだ探究学習のメカニズム(課題の設定・情報の収集・整理分析・まとめと表現)を使って、生徒ひとりひとりが自ら関心を持つ分野を選んで、「これからの社会に必要なこと」と題して課題解決をめざす取組み。具体的なテーマは、生徒それぞれが個人もしくはグループとして興味・関心・希望進路に基づいて設定する。1・2年で行ってきた探究学習の集大成であり、自らの卒業後の進路にも大きく関わる。主体的に進路決定ができる生徒を育てるとともに、進学後や社会に出た後を見据えたキャリア意識を育む。また、進路実現のために必要な学力を、教科学習との相乗により高めていく。)

令和 6年度 総合的な探究の時間 実施計画書

府立 桜塚 高等学校 課程等 全日制 普通 科(系)

探究課題	・探究オリエンテーション ・理想のロールモデルを追及する		実施学年(年次)	1
			単位数	1
指導体制	校内の「探究プロジェクトチーム」が全体計画を立案し、この計画案をもとに1学年の担任、必要に応じて副担任が協力して指導にあたる。	教材等	各時の活動に必要なレジュメ、ワークアウト、その他の資料(ICTを活用したデータ資料とプリントした紙ベースの資料)のほか、外部教材(テキスト・動画)を適宜使用。必要に応じて外部講師の協力を仰ぐ。	
評価の観点	<p>【知識及び技能】 文献、メディアなど様々な情報リソースを駆使して、探究に必要な題材や資料などを手に入れることができる。手に入れた題材や資料をもとに、社会情勢や社会課題を的確に把握することができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の特性を的確に分析、認知できる。自らが社会課題の解決にどのように取り組んでいけるかを自己の特性と関連付けて考察し、その内容を表明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会分析と自己分析を通じた探究活動をPDCAサイクルをとおして深めていくことができる。活動をとおして、探究内容を自らの進路実現に向けた実践に役</p>			
	具体的な学習活動など(箇条書きなどでまとめる)		評価方法・評価のポイント	
4月	・探究オリエンテーション ・テーマを設定して活動(グループでの情報収集・調査活動、外部講師からのアドバイス、クラスでの発表と討議など)		知識・技能: 探究活動の目的と枠組みを理解できる 思考・判断・表現: 探究活動に必要なリソースを選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度: 積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
5月	・探究オリエンテーション ・テーマを設定して活動(グループでの情報収集・調査活動、外部講師からのアドバイス、クラスでの発表と討議など)		知識・技能: 探究活動の目的と枠組みを理解できる 思考・判断・表現: 探究活動に必要なリソースを選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度: 積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
6月	・理想のロールモデルを追及するにあたっての心がまえを共有 ・ロールモデルに関するブレインストーミング		知識・技能: 探究活動の目的と枠組みを理解できる。 思考・判断・表現: 発表に必要なリソースを選択的に活用、共有ができる。適切な協働活動に取り組める。 主体的に学習に取り組む態度: 積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
7月	・ロールモデル探究		知識・技能: 探究活動の目的と枠組みを理解できる 思考・判断・表現: 探究活動に必要なリソースを選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度: 積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
8月	・ロールモデル探究 ・夏季休業の探究課題		知識・技能: 課題の内容を理解し、自らがやるべきことを整理できている 思考・判断・表現: 課題に取り組むうえで必要なリソースを選択的に活用することができる 主体的に学習に取り組む態度: 未知の領域にも積極的にリサーチの幅を広げていく姿勢を持っている	
9月	・ロールモデルに関する調査活動		知識・技能: 課題の内容を理解し、自らがやるべきことを整理できている 思考・判断・表現: 課題に取り組むうえで必要なリソースを選択的に活用、共有することができる 主体的に学習に取り組む態度: 未知の領域にも積極的にリサーチの幅を広げていく姿勢を持っている	
10月	・ロールモデルに関する調査活動 ・発表準備		知識・技能: 課題の内容を理解し、自らがやるべきことを整理できている 思考・判断・表現: 課題に取り組むうえで必要なリソースを選択的に活用、共有することができる 主体的に学習に取り組む態度: 未知の領域にも積極的にリサーチの幅を広げていく姿勢を持っている。積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
11月	・発表(クラス) ・共有とふりかえり		知識・技能: 課題の内容を理解し、自らがやるべきことを整理できている。 思考・判断・表現: 発表に必要なリソースを選択的に活用、共有ができる。適切な発表活動に取り組める。 主体的に学習に取り組む態度: 伝えたい内容を工夫して発表に盛り込んでいる。他者の発表を傾聴する態度を持っている。	
12月	・発表(学年) ・共有とふりかえり		知識・技能: 課題の内容を理解し、自らがやるべきことを整理できている。 思考・判断・表現: 発表に必要なリソースを選択的に活用、共有ができる。適切な発表活動に取り組める。 主体的に学習に取り組む態度: 伝えたい内容を工夫して発表に盛り込んでいる。他者の発表を傾聴する態度を持っている。	
1月	・発表内容の英訳作業 ・英語での発表活動(クラス)		知識・技能: 英訳作業をスムーズに行える。 思考・判断・表現: 発表に必要なリソースを選択的に活用、共有ができる。適切な発表活動に取り組める。	

		主体的に学習に取り組む態度: 伝えたい内容を工夫して発表に盛り込んでいる。他者の発表を傾聴する態度を持っている。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・発表内容の英訳作業 ・英語での発表活動(学年) 	<p>知識・技能: 英訳作業をスムーズに行える。</p> <p>思考・判断・表現: 発表に必要なリソースを選択し的確に活用、共有ができる。適切な発表活動に取り組める。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度: 伝えたい内容を工夫して発表に盛り込んでいる。他者の発表を傾聴する態度を持っている。</p>
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・各自で探究学習のふりかえりを行う ・次年度の探究活動テーマの予告 	<p>知識・技能: これまでの活動をふりかえり、身につけた知識や技能を整理して定着させる。</p> <p>思考・判断・表現: 次年度の探究活動に向けて必要な活動内容を考察し、計画を立てられる。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度: 積極的な態度で活動に参加し、他者とコミュニケーションを図りながら活動することができる。</p>

令和 6年度 総合的な探究の時間 実施計画書

府立 桜塚 高等学校 課程等 全日制 普通 科(系)

探究課題	・理想のロールモデルを追究する ・近未来の社会と私の関わりをデザインする		実施学年(年次)	2
			単位数	1
指導体制	校内の「探究プロジェクトチーム」が全体計画を立案し、この計画案をもとに2学年の担任、必要に応じて副担任が協力して指導にあたる。	教材等	各時の活動に必要なレジュメ、ワークアウト、その他の資料(ICTを活用したデータ資料とプリントした紙ベースの資料)のほか、外部教材(テキスト・動画)を適宜使用。必要に応じて外部講師の協力を仰ぐ。	
評価の観点	<p>【知識及び技能】 文献、メディアなど様々な情報リソースを駆使して、探究に必要な題材や資料などを手に入れることができる。手に入れた題材や資料をもとに、社会情勢や社会課題を的確に把握することができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の特性を的確に分析、認知できる。自らが社会課題の解決にどのように取り組んでいけるかを自己の特性と関連付けて考察し、その内容を表明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会分析と自己分析を通じた探究活動をPDCAサイクルをとおして深めていくことができる。活動をとおして、探究内容を自らの進路実現に向けた実践に役立てることができる。</p>			
	具体的な学習活動など(箇条書きなどでまとめる)		評価方法・評価のポイント	
4月	・1年次の探究活動で発表した理想のロールモデルが、社会に対してどのような影響を及ぼしているかを多角的に考察し、自分の進路目標とのかかわりを考える。・これからの社会がどのように変化していくかを予想し、10年後の世界の姿、地域社会の姿に関するグループ研究をすすめ、自分の進路目標とのかかわりを考える。・修学旅行の行き先の沖繩について、地形・気候・歴史・文化・産業などの分担を決めて調査を行う。		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
5月	・1年次の探究活動で発表した理想のロールモデルが、社会に対してどのような影響を及ぼしているかを多角的に考察し、自分の進路目標とのかかわりを考える。・これからの社会がどのように変化していくかを予想し、10年後の世界の姿、地域社会の姿に関するグループ研究をすすめ、自分の進路目標とのかかわりを考える。・修学旅行の行き先の沖繩について、それぞれ分担して調査した内容を共有するとともに、沖繩の高校生とのオンライン交流活動を進める。		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
6月	・ロールモデル研究をふまえて、社会とのかかわりという視点から自らの進路目標を具体的に考える。自らの強み、個性、特性、セールスポイント、課題点を整理する。整理した内容を他者に分かりやすく伝える工夫を考える。・修学旅行の行き先の沖繩と本土の歴史的関係を探究するとともに、沖繩の高校生とのオンライン交流活動を進める。		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りができる	
7月	・ロールモデル研究をふまえて、社会とのかかわりという視点から自らの進路目標を具体的に考える。自らの強み、個性、特性、セールスポイント、課題点を整理する。整理した内容を他者に分かりやすく伝える工夫を考える。・修学旅行の行き先の沖繩と本土の歴史的関係を探究するとともに、沖繩の高校生とのオンライン交流活動を進める。		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りができる	
8月	・これまでの活動をふまえて、自らの進路実現への道筋を具体的に考える。(夏季休業の課題)・沖繩の高校生とのオンライン交流活動を進める。		知識・技能:課題に取り組んで、成果物を作成する 思考・判断・表現:課題作成に必要な情報収集・調査活動を的確にできる 主体的に学習に取り組む態度:課題の提出と、次につながる振り返りができる	
9月	・自らの進路目標実現のための行動プランを立案し、そのために必要な事項を整理する。・修学旅行前に、これまでの探究活動のまとめを行う。		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りができる	
10月	・自らの進路目標を、そのための行動プランを立案し、そのために必要な事項を整理する。・修学旅行後に、沖繩に関する探究活動の振り返りを行う。		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
11月	行動プランの発表準備、発表		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りができる	
12月	行動プランの発表準備、発表		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りができる	
1月	行動プランの英訳、英語での発表準備、発表		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りができる	
2月	行動プランの英訳、英語での発表準備、発表		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他	

		者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りが できる
3月	各自で探究活動のふりかえりを行う。 次年度の探究活動テーマの予告	知識・技能: 情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現: 情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件 を過不足なく選択し的確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度: 積極的な態度で活動に参加し、他 者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りが できる

令和 6年度 総合的な探究の時間 実施計画書

府立 **桜塚** 高等学校 課程等 **全日制** **普通** 科(系)

探究課題	私たちが生きるこれからの世界に必要なこと		実施学年(年次)	3
			単位数	1
指導体制	校内の「探究プロジェクトチーム」が全体計画を立案し、この計画案をもとに3学年の担任、必要に応じて副担任が協力して指導にあたる。	教材等	各時の活動に必要なレジュメ、ワークアウト、その他の資料(ICTを活用したデータ資料とプリントした紙ベースの資料)のほか、外部教材(テキスト・動画)を適宜使用。必要に応じて外部講師の協力を仰ぐ。	
評価の観点	<p>【知識及び技能】 文献、メディアなど様々な情報リソースを駆使して、探究に必要な題材や資料などを手に入れることができる。手に入れた題材や資料をもとに、社会情勢や社会課題を的確に把握することができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の特性を的確に分析、認知できる。自らが社会課題の解決にどのように取り組んでいけるかを自己の特性と関連付けて考察し、その内容を表明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会分析と自己分析を通じた探究活動をPDCAサイクルをとって深めていくことができる。活動をとって、探究内容を自らの進路実現に向けた実践に役立てることができる</p>			
	具体的な学習活動など(箇条書きなどでまとめる)		評価方法・評価のポイント	
4月	・1年次・2年次の探究活動を踏まえて、自分の進路目標とかかわる探究テーマを各自で設定する。		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択し的確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加した。	
5月	・1年次・2年次の探究活動を踏まえて、自分の進路目標とかかわる探究テーマを各自で設定する。		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択し的確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加した。	
6月	・各自で設定した探究テーマに関する探究活動に適宜取り組む		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択し的確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加した。	
7月	・各自で設定した探究テーマに関する探究活動に適宜取り組む		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択し的確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加した。	
8月	・各自で設定した探究テーマに関する探究活動に適宜取り組む(夏季休業の課題)		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択し的確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加した。	
9月	・各自で設定した探究テーマに関する探究活動をまとめ、発表準備を行う。		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択し的確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
10月	・各自で設定した探究テーマに関する探究活動をまとめ、発表準備を行う。		知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択し的確に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
11月	探究発表		知識・技能:情報収集・調査活動に取り組んだ結果が発表内容に的確に反映されている。 思考・判断・表現:発表内容と方法が的確で、内容を他者と共有することができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
12月	探究発表		知識・技能:情報収集・調査活動に取り組んだ結果が発表内容に的確に反映されている。 思考・判断・表現:発表内容と方法が的確で、内容を他者と共有することができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
1月	探究発表		知識・技能:情報収集・調査活動に取り組んだ結果が発表内容に的確に反映されている。 思考・判断・表現:発表内容と方法が的確で、内容を他者と共有することができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる	
	・各自で探究活動の振り返りを行う		知識・技能:情報収集・調査活動に取り組んだ結果が発表内容に	

2月		的確に反映されている。 思考・判断・表現:発表内容と方法が的確で、内容を他者と共有することができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、今後につながる振り返りができている
3月		